

教科・「科目」	数学・「数学Ⅱ」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	2	全学科選択科目

### 1. 目標と評価規準

目標	いろいろな式、図形と方程式の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法	
関心・意欲・態度 (20%程度)	いろいろな式、図形と方程式の考えにおける考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。	学習状況発表等	
数学的な見方や考え方 (10%程度)	いろいろな式、図形と方程式の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	確認テスト等	
数学的な技能 (30%程度)	いろいろな式、図形と方程式の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ノート 課題 定期考査等	
知識・理解 (40%程度)	いろいろな式、図形と方程式の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	定期考査等	
使用教材等	教科書:改訂版 最新 数学Ⅱ(数研出版)、電子黒板、学習用パソコン		

### 2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	第1章 式と証明	<p>整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。</p> <p>三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をする。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をする。</p> <p>因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数分解などを用いて求める。</p>	学習用パソコン、電子黒板
	5			
	6			
	7			
2 学期	9	第2章 複素数と方程式	<p>方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数までに拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。</p> <p>数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をする。また、二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解する。</p>	学習用パソコン、電子黒板
	10			
	11			
3 学期	12	第3章 図形と方程式	<p>座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表す。また、座標平面上の直線や円を方程式で表し、それを二直線や円と直線の位置関係などの考察に活用する。</p> <p>座標平面上に、不等式の表す領域を図示し、連立不等式とそれが表す領域までを考察する。</p>	学習用パソコン、電子黒板、グラフィックソフト
	1			
	2			
	3			

備考	
----	--